

創立146周年



学校だより
はえ
南風の子

中種子町立
南界小学校
令和2年2月21日(金)

残された日々を大切に・・・

校長 吉留 巧

2月も半ばを過ぎ、3学期の登校日54日(6年生は53日)の半分を過ぎました。「1月は行く、2月は逃げる・・・」を実感しています。

2月5日には、新1年生の体験入学と説明会を開催しました。令和2年度は5名の新1年生を迎えることとなります。5名の入学は2年ぶりで4月の入学を楽しみしています。 新入生と1・2年生→



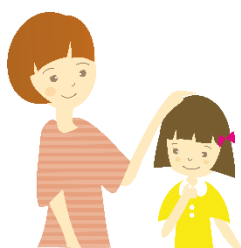
また、1月に5年生対象の鹿児島学習定着度調査や全学年対象の標準学力検査で学習の定着状況を確認しました。残りの日々で、今の学年の学習内容をきちんと身に付けて6年生は中学校への進学、1年生から5年生は進級ができるように子供たちは最後のまとめをがんばっています。一人一人への支援をしていきます。

残った学校行事は、お別れ遠足・6年生を送る会、卒業式、修了式となりました。残された日々を大事に過ごしてもらいたいと思います。

今年度も南界小では、「心の教育」の中で「子供の自己肯定感を高める」をキーワードの各取組を行ってきました。自己肯定感とは、「自分は生きる価値がある、誰かに必要とされている」など、自らの価値や存在意義を肯定できる感情のことを言います。自分の良いところも悪いところも含めて、自分のすべてを肯定できる前向きな感情とも言えます。自己肯定感の高い子供は、自分に自信があり、何事にも挑戦していく心(折れない心)を持っています。

鹿児島県教育委員会作成の「鹿児島教育ナビ」の中で、家庭で自己肯定感の高い子供を育てる考えが紹介されています。

◎子供の自己肯定感を高めるポイント



- ①どんなときも「あなたの味方」と伝える。
- ②小さな成功体験を積み重ね、褒める。
- ③がんばりを認める。
- ④子供の話を真剣に聞く。
- ⑤感謝の気持ちを伝える言葉「ありがとう」を言う。

◎親の思いや考えを押しつけすぎない。

親は自分の子供のために考えたことは正しいと思いがちですが、必ずしもそうとは限りません。自分の思いや考えを押しつけるのではなく、「あなたはどう思う？」と、まず子供の言い分をじっくり聞き、子供の気持ちをしっかり受け止めてから、「自分はこう思うのだが」と、一緒に考え学んでいく姿勢が大切です。

◎親は子供の応援団

子供は子供なりに夢や希望を持っています。その夢や希望を聞きましょう。また、自分の経験や、長い間にわたって苦勞して夢を実現した人々の生き方などを折りにふれて話しましょう。そして人生の目標は、汗を流し、失敗を重ねながら達成していくものだ、励まし、温かく見守っていきましょう。